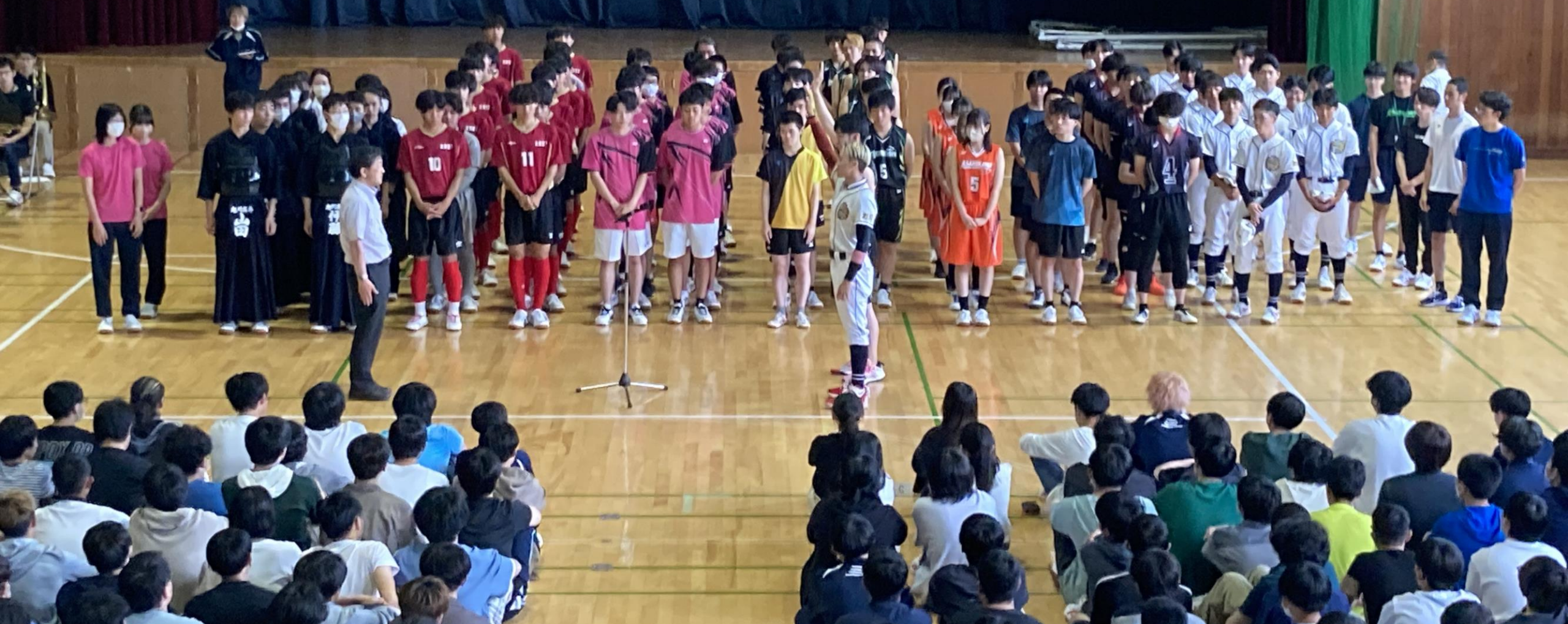


FANCT vol.138-Jul.



学生会長あいさつ

学生会長

高杉 優希



本年度学生会会長を務めています。機械システム工学科4年高杉優希です。

今年度は新入生研修・体育大会・専体連壮行会といった学校行事を行ってきました。新入生研修はコロナの影響で学内での実施となりましたが、体育大会は従来の形に戻して制限なく行うことができました。また、専体連壮行会は5年ぶりの実施となり、校歌の斉唱も行いました。

今後は、高専祭が控えており、学生会一同準備に励んでおります。昨年度は実施できなかった分も今年は盛り上がるようにしっかり準備をしたいと思います。

今後とも学生会の活動にご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



校内体育大会

体育大会実行委員長

高杉 優希

5月18日（木）・19日（金）の2日間にわたり、校内体育大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、これまでの規制を大幅に緩和しての開催となりました。昨年度実施したソフトボール・バレーボール・バドミントン・ウォークラリー・駅伝に加え、バスケットボール・ドッジボールの7競技が行われ、非常に大きな盛り上がりを見せました。

総合優勝された5Eの皆さん、おめでとうございます。また、各試合にクラスで協力して全力を尽くし、校内体育大会を楽しんでくれた学生の皆さん、お疲れ様でした。

校内体育大会の開催にあたり、学生委員会をはじめとした教職員の皆様にはご指導・ご助言を賜りました。体育教員や学生課の皆様からは物品をお借りいたしました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

各競技の優勝クラス（科）

ソフトボール	5E
バレーボール	教職員
バドミントン	5C
バスケットボール	5C
ドッジボール	機械システム工学科
ウォークラリー	5E
駅伝	2E
決意表明	2M

総合順位

総合優勝	5E
準優勝	2M
3位	4M



新入生研修を終えて

機械システム工学科

菅原 廉

新入生研修にて各学科の紹介を、各学科長による講和で今後の高専生活の参考になる話を聞くことができ、五年間機械システム工学科で勉強していくこと、どのように生活していくか、ある程度知ることができました。学科紹介で、授業は休まず、提出物は提出日に遅れても必ず提出するべきと言われたことが非常に印象に残り、提出物は必ず提出日までに提出すると決心しました。

また、グループエンカウンターやスポーツ活動では、あまり話していなかった人と少なからず話しながら楽しむことができたので、この調子でこれから少しずつ話せるようにしたいです。

私は新入生研修を通して、自主学習を怠らず、進学を見据えた勉強をしていくこと、部活動にも力を入れ、実績を積みつつ学生生活を楽しんでいくことを目標に五年間頑張っていこうと思いました。



電気情報工学科

打田 悠歩 小緑 彩斗

このクラスは十人十色の個性がある人たちが多く、授業と休み時間でけじめがついているクラスだと思います。交流活動を通じて、クラスのグループ活動、学年のスポーツ活動でクラス内だけでなく1学年全体としても親睦が深まったのではないかと感じました。先輩方のお話を聞くことができ、この学校がどのような場所なのかおおよそわかりました。また、先輩方に優しく今回教えていただき、本当にうれしかったです。

新入生研修を終えてからは会話が増え、入学後よりも雰囲気良くなったと思います。今後の学校生活ではみんなで仲良くすること、いじめが起きないような雰囲気を作ることのできるクラスを一人からでも広げていけたらいいなと思います。新入生研修で、この学年全体がこれから5年間過ごすための大切な絆ができたと思いました。



新入生研修を終えて

システム制御情報工学科

川上 晃弥

【クラスの紹介】 1Sは自分が想像していたよりも体育会系の学生が多く、今回の新入生研修でもどの科よりも盛り上がっていたと思います。ですが、普段の授業での態度などは良く、イベントや休みと授業のメリハリがつけられるクラスです。高専祭や体育祭の際には全力で盛り上がりたと思います。

【印象に残ったこと】 今回の新入生研修で印象に残ったことは、ミニバレーで自分のチームが思ったよりも活躍できたことです。予選では4戦4勝し、本戦では優勝チームに惜しくも惨敗し、3位という結果になりました。急に決まったチームでしたが、協力しあえたことが印象に残っています。

【今後の学校生活に対する抱負】 グループエンカウンターや学科長の講話にあった「当たり前のことを当たり前にする」という言葉を心にとどめて、授業の予習復習をしたり、教員の方々や学生とうまくコミュニケーションをとっていきたいです。

物質化学工学科

道田 和奏

【クラスの紹介】 1Cは男子より女子の人数の方がかなり多いという異例のクラスです。みんなもそれぞれに違う個性を持っていて互いに尊重し合いながら、仲を深められるクラスです。

【新入生研修を終えて、クラスで変わったこと】 今まで話す機会がなく、あまり関わることはできなかった人とも交流できたので、クラスメイトそれぞれが新しい発見やおもしろさに出会えたように感じました。以前よりもクラスメイトのことを知ることができ、より一層クラスの雰囲気明るくなったように思えました。

【先輩の学校紹介を聴いて感じたこと】 特に1、2年で習う学習内容を先輩が詳しく教えてくださったのが印象に残っています。これから具体的に学年が上がるにつれて学習内容はどのように変化していくのか目処が立たず、不安だったので勉強になりました。

【今後の学校生活に対する抱負】 授業の休み時間の切り替えや時計を見て行動することを意識して、1Cらしく明るく元気にみんなと、どんな困難も乗り越えていきたいです。



宿泊研修を終えて（機械システム工学科）

機械システム工学科

級 長 門 田 丈

宿泊研修委員 山下 巳希汰

コロナ禍が明け行事が漸く正常に進みだした今年。初めての課外活動たる宿泊研修で気付いたことがある。

それは北海道の自然を再び壮麗だと思えた事。私自身二年前、三泊四日の修学旅行最終日に訪れて以来だ。旭川の中学校にいた人はそうである人が多いであろう。前は乗らなかったスペースショットで北海道の雄大なる風土を、久方振りに乗ったハリケーン、ループ・ザ・ループで新鮮な空気や木々の自然を再確認することができた。徳島の地から遥々飛行機に乗り来てくれた城東高校の先生は「高専の旅行は拘っている」と言ってくれた。彼らの中には北海道旅行が初めての者が多そうであった。初めての場所に行くことも素晴らしいが、地元の見慣れた風景をこの年になってから確かめられるこの旅行、もとい研修は、九州へ行く高校や沖縄、台湾、関西を選ぶ事のできる私立・公立のそれと比べてより綿密に拘られているのであろう。また、金銭面で考えても研修自体は比較的安価で、しかも道民割までもが付き、お土産を沢山買えと言わんばかりのものであることも評価できる。さすが国立と思うと共に、如何にして自分の故郷を知らずに内地のものを知ることができようかとさえ思われる。



自分は今まで宿泊研修委員のようなものにはなったことが無かった。しおりを作ったことはもちろん、班の構成を決める中心に立つことも無かった。しかし殊の外それらは上手く進み、バスの中で流した「心が叫びたがってるんだ。」などの映画や、持参した曲はクラスでもそれなりに好評で嬉しかった。何れにせよ今回の宿泊研修で問題が起らずに円滑に進んだ事はとてもよかった。今回心配していた車酔いも、移動時間が限りなく少ない近場であったため起こることなく、安心してバスに乗ることができた。ただし飛行機や汽車のような車酔いの起こり難い物に乗る旅行より車酔いを起こしてこそ旅であるため、一度起こして見るのも一興であるだろう。

今回深めた仲間との友情や委員としての経験を今後の行事や人生で活かしていきたい。



宿泊研修を終えて（電気情報工学科）

電気情報工学科

級長 金子 優心

今回、私たちは宿泊研修でルスツリゾートとエスコンフィールドに行きました。この二つの場所で、いろいろな機械や技術が使われていることがわかりました。

エスコンでは窓に窓ふきロボットがいて自動で掃除をしていたり、天然の芝生を維持するために温度を一定に保つ空調設備があったりして驚きました。また、ルスツリゾートのお化け屋敷では、お客さんを怖がらせるために人形を動かしたり空気を噴射させるなど楽しんでもらえるような新しい技術や工夫が詰め込まれていました。

クラスの中では、普段は話さない人や関わらない人とも話しをして、ほかの人のことを知ることができました。サービスエリアでは名物の揚げ芋やメロンソフトクリームなどを友達と食べることができてスゴクおいしかったです。バスの中では、ゲームやおしゃべりをしていい思い出になりました。ルスツではクラスの一人が一時迷子になってしまい、少し探したりしました。

個人的に、エスコンの支払いが全部電子化で行われてることにすごく驚きました。

今回の研修では、身近に使われている技術のすごさや、人とのつながりの大切さを改めて思い知らされました。またみんなと楽しく旅行に行きたいです。



宿泊研修を終えて（システム制御情報工学科）

システム制御情報工学科

福井 信基

ルスツの遊園地のことが印象に残った。中学校の修学旅行でも行ったことはあったが、前回の時と違うメンバーでジェットコースターに乗ったり、昼ごはんはピザを食べたりして、前回来た時とはまた違った思い出がいっぱいできたからだ。

エスコンフィールドで聞いた元プロ野球選手の講話では、自分にはまだ可能性があることを新しく知った。これまで、自分にはこれは無理だろうと思ってすぐあきらめることが多かった。この話を聞いて、最初は無理だろうと思って、少しの可能性を信じて、あきらめずに少しはやってみようと思った。

工学が活かされていることとして、エスコンフィールドでは、ほぼ全ての場所がキャッシュレスだったことが興味深かった。行く前は現金が使えないのは不便だと思っていたが、キャッシュレスだと会計がすぐ終わって、時間に余裕をもって行動することができたので良かった。

ホテルで同じ部屋のメンバーと遊んだことも楽しかった。いつもと同じメンバーだったけれども、いつもはしたことのないゲームをしたり、ホテルの中を探索（といってもゲームコーナーに行っただけだが）したりしたことが楽しかった。



宿泊研修を終えて（物質化学工学科）

【荒尾花歩】 ルスツの遊園地でお互いにすれ違うと、ふだんはあまり関わりのない男子でも手を振ってくれたり、アトラクションの話で盛り上がることができました。少し距離が縮まったり、新たに接点を持つことができて嬉しかったです。また、ホテルの部屋ではいつも長い時間は一緒にいない人と一緒にでしたが、とても面白いところがある人だったり、努力家であることなど、今まで知らなかった新たな一面を知ることができました。

【大矢こはる】 エスコンフィールド内で見かけた自動で窓を拭き掃除をするロボットに興味を持ちました。人が窓を掃除すると時間や労力がかかり危険も伴うため、そうした問題点を解消するための機械が作られているという状況を目の当たりにして、身近な生活も工学によって支えられていると実感しました。

【上原宗一郎】 エスコンフィールドでの講話が特に印象に残りました。元プロ野球選手であった方が講師として「夢を掴むために大事なこと」というテーマで話してくださいました。自分を変えるきっかけとなった、とある言葉との出会いや、自分の可能性を信じてモチベーションをいかに維持するかなど、普段は聴くことのできないような話から大切なことを学べたと思います。

【倉橋陽太】 この宿泊研修では、ルスツリゾートが一番楽しかったです。友だちと遊園地で遊んだり、夜まで話をしたり、友だちと過ごした時間は一生の思い出になると思えました。これから約3年半、一緒に過ごす友だちのことをさらに少しだけ知ることができたと感じました。



第59回北海道地区高専体育大会結果

【旭川開催】

野球（7月8、9日 比布町びっぴ球場）3位

1回戦 苫小牧高専 9-11 敗

3位決定戦 対函館 11-4 勝

バスケットボール（7月15、16日 旭川市リアルター夢りんご体育館）

女子 準優勝（1勝1敗）

第1試合 釧路高専 67-59 勝

第2試合 函館高専 34-98 負

男子 準優勝（1勝2敗）

第1試合 函館高専 71-58 勝

第2試合 釧路高専 67-68 負

第3試合 苫小牧高専 44-70 負

【函館開催】

剣道（7月8、9日 函館工業高等専門学校第二体育館）

女子団体 優勝（2勝）

女子個人

1C板東 優勝 2E遠藤 準優勝 2E大熊 予選3位

男子団体 準優勝（1勝1敗）

男子個人

2M南本 優勝 3M高松 準優勝

1M武田 3M井上 ベスト8

3M小野寺 2M加藤 初戦敗退

ソフトテニス（7月8、9日 函館市千代台公園庭球場）

男子団体 準優勝

男子個人ダブルス

1E漆山・1E高橋：予選リーグ3位

3C岸本・4E松村：予選リーグ1位、決勝トーナメント1回戦敗退

2M小松・1E阿部：予選リーグ2位、決勝トーナメント1回戦敗退

5C熊田・5E平澤：予選リーグ3位

女子ダブルス

1S真崎・5E太田 準優勝

女子シングルス

1S真崎 準優勝

【苫小牧開催】

アーチェリー（7月8、9日 苫小牧工業高等専門学校洋弓場）

女子個人

4C米田 優勝 4C谷村 3位

バレーボール（7月8、9日 苫小牧総合体育館）

男子 4位（旭川1：2函館、旭川0：2苫小牧、旭川0：2釧路）

【釧路開催】

サッカー（7月8、9日 阿寒町多目的広場） 準優勝（1勝1敗1分）

第1試合 釧路高専 0(0-0、0-0)0 分

第2試合 函館高専 3(2-1、1-1)2 勝

第3試合 苫小牧高専 0(0-0、0-1)1 敗

卓球（7月8、9日 釧路工業高等専門学校体育館）

団体 3位

個人シングルス 4位 友兼

個人ダブルス 準優勝 友兼・松井組

バドミントン（7月8、9日 ウインドヒルくしろスーパーアリーナ）

男子団体 4位（旭川1：2函館、旭川1：2苫小牧、旭川1：2釧路）

男子ダブルス（トーナメント）

1M森山・1E庄子組 2回戦敗退

5C林・4E浅野組 2回戦敗退

4M吉田・3S池田組 1回戦敗退

男子シングルス（トーナメント）

5C林 1回戦敗退

4E浅野 2回戦敗退

1M森山 1回戦敗退

1E庄子 1回戦敗退

陸上（公認記録ランキングから全国高専体育大会陸上競技の代表選手選考）

400m 2S鈴木悠斗 1C田村心 800m 2S鈴木悠斗

砲丸投 5E井上龍 2S宮田耀

赤字は全国大会出場

旭川高専産業技術振興会の企業紹介

NO.29 【旭川ガス株式会社】

【会社概要】

設立：1933年12月26日
従業員数：129名（男性118名 女性11名）※2023年7月1日現在
事業内容：都市ガス（天然ガス）を中心に灯油や重油プロパンガスを取扱う
エネルギーの供給事業
供給地域：旭川市内・東神楽町の一部・江別市内
事業所：旭川本社、江別支社
勤務地：旭川市、江別市

【アピールポイント】

普段の暮らしに欠かせないエネルギー。

このエネルギーを安全に確実にお届けし続けることが私たちの仕事です。24時間365日お客様に、当社の安心・快適なエネルギーサービスをお使いいただくために、私たちにはそれぞれの役割が与えられています。ガスの製造工場のオペレーション業務や埋設導管の工事や維持管理、様々なお客様の用途に合わせたサービスのご提案、基幹システムによるお客さまの情報管理、経理や総務などの管理部門まで、全社員が使命をもって取り組んでいます。

旭川で創業して、今年90年を迎えますが、ライフラインを守り、より快適な生活空間の創造を目指す姿勢はこれからも変わらずに、地域の皆様から信頼される存在であることに誇りを持ち地域の暮らしを支えています。『地域密着の仕事がしたい』『暮らしに役立つ仕事がしたい』という方、大歓迎です。

是非ご連絡をお待ちしております。

【連絡先】

住所：旭川市4条通16丁目左6号
TEL：0166-23-4151
URL：<https://asahikawa-gas.co.jp/>



旭川ガス永山工場前全景



お客様と設置するガス機器について打合わせ



ガスの安定供給に欠かせない
地区整圧器の整備点検作業

旭川高専産業技術振興会の企業紹介

NO.30 【国策機工株式会社 旭川事業部】

【会社概要】

設立 : 昭和40年2月27日

社員数 : 84名

事業内容 : 製紙工場内メンテナンス（製配管・電気）、
機械器具設置、産業用機械設計・製作、建築設備 等

事業所 : 機械事業部（苫小牧）、旭川事業部

【アピールポイント】

私どもは創業以来56年間、日本製紙のグループ会社として紙パルプ工場のメンテナンス・環境関連設備や官公庁の建築設備工事等、多岐に渡る業務で皆様の生活を支えて参りました。その中で培われた豊富な経験を未来へ繋いでいくために、旭川高専卒業生の地元就職や、Uターン就職の募集をしております。

弊社では、高専卒の強みである専門知識や、調査・収集能力を活かせる分野が多くあり、現在高専OBが10名活躍している実績があります（内4名が旭川高専卒）。募集職種が多く、仕事をお探しの方の様々なニーズにお応えすることが可能です（職種の内容：製配管工事施工管理、電気工事施工管理、建築設備施工管理、設計、機械器具据付工等）。また、年間休日数が120日ありますので仕事とプライベートの両立が可能です。インターンシップの受入もしておりますので、気になる方はお気軽にお問合せ下さい。

旭川高専で培った力をぜひ弊社で発揮してみませんか！？

【連絡先】

住所：旭川市パルプ町505-1

TEL：0166-24-1044

URL：<http://www.kokusakukikou.co.jp/>



本社工場外景



タンク設置工事



煙道更新工事

FANCT vol.138-Jul.



独立行政法人 国立高等専門学校機構

旭川工業高等専門学校

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1-6

TEL: 0166-55-8000 (代表)

FAX: 0166-55-8082

URL: <https://www.asahikawa-nct.ac.jp/>

学校だよりに掲載されている記事・写真などは、学校だよりへの掲載目的以外の利用および外部への提供は一切行いません。また、個人情報に関するお問い合わせは、上記担当までご連絡ください。掲載の記事・写真・イラストなどのコピー・転写等の2次利用は固くお断りいたします。